

修学院小学校運営協議会だより

第32号 学校運営協議会理事長 青木 克之 修学院小学校長 鎌田 賢二
令和7年9月8日発行



初秋の候、平素より修学院小学校の教育活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。残暑が厳しい中ですが、子どもたちは元気いっぱい2学期のスタートを切りました。

これからは運動会や学習発表会など、子どもたちが力を発揮する場面が続きます。一人ひとりの成長を、地域の皆様とともに見守り、支えていけることを、教職員一同、大変ありがたく感じております。

本年6月13日(金)には、学校運営協議会を開催し、地域の皆様と教職員が一体となって、修学院小学校のよりよい教育環境づくりについて意見を交わしました。

また、7月23日(水)には、地域の皆様のご協力のもと、まなびの池の清掃と正門付近の柵のペンキ塗りを行っていただきました。子どもたちが安心して過ごせる環境づくりにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

今後も、学校と地域が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。

学校安全環境委員会

本校では、児童の安全を守るため、日々の教育活動と連携しながら計画的に安全対策を進めています。

6月25日(水)には、学校環境安全委員会を開催しました。委員の皆様とともに、校内の安全点検や安全教育の充実、地域における安全確保の取り組みについて話し合い、今後の方針を確認しました。地域の皆様との連携を深めながら、児童が安心して学べる環境づくりを進めてまいります。

また、10月6日(月)2校時には、不審者侵入対応訓練を予定しています。児童には、緊急時の通報の仕方や避難行動について事前に指導し、当日は落ち着いて迅速に行動できるよう訓練を行います。また後日に、PTA環境委員の方がご準備くださった動画を視聴し、不審者対応についての理解を深める予定です。

教職員に対しても、下鴨警察署の方をお招きし、「さすまた」の使用方法や護身術など、実践的な研修を実施する予定です。児童・教職員ともに、安全意識を高め、万が一の事態にも冷静に対応できる力を養ってまいります。

今後も、学校安全環境委員の皆様と協力しながら、学校内外の安全確保と健康環境の向上に努めてまいります。

学び支援委員会

学びの支援委員会では、日々の学習活動を支援し、子どもたちの学びをサポートしています。

今年度も、伝統文化を学ぶ機会として、12月10日(水)・11日(木)に6年生を対象とした茶道教室を実施予定です。800年にわたり受け継がれてきた茶道の礼儀作法やおもてなしの精神を学ぶことで、日本の伝統文化を尊重する心や郷土を愛する態度を育みます。



開かれた学校委員会

開かれた学校委員会では、年2回実施の『子ども育みアンケート』の評価項目の検討・結果の分析を行っています。保護者・地域への情報発信として、学校運営委員会だよりや校長室だより「こころ」等を発行しています。これからも、よりよい学校教育に向けてサポートを続けていきます。

開かれた学校委員会 コミュニケーションシート(子ども育みアンケート)より

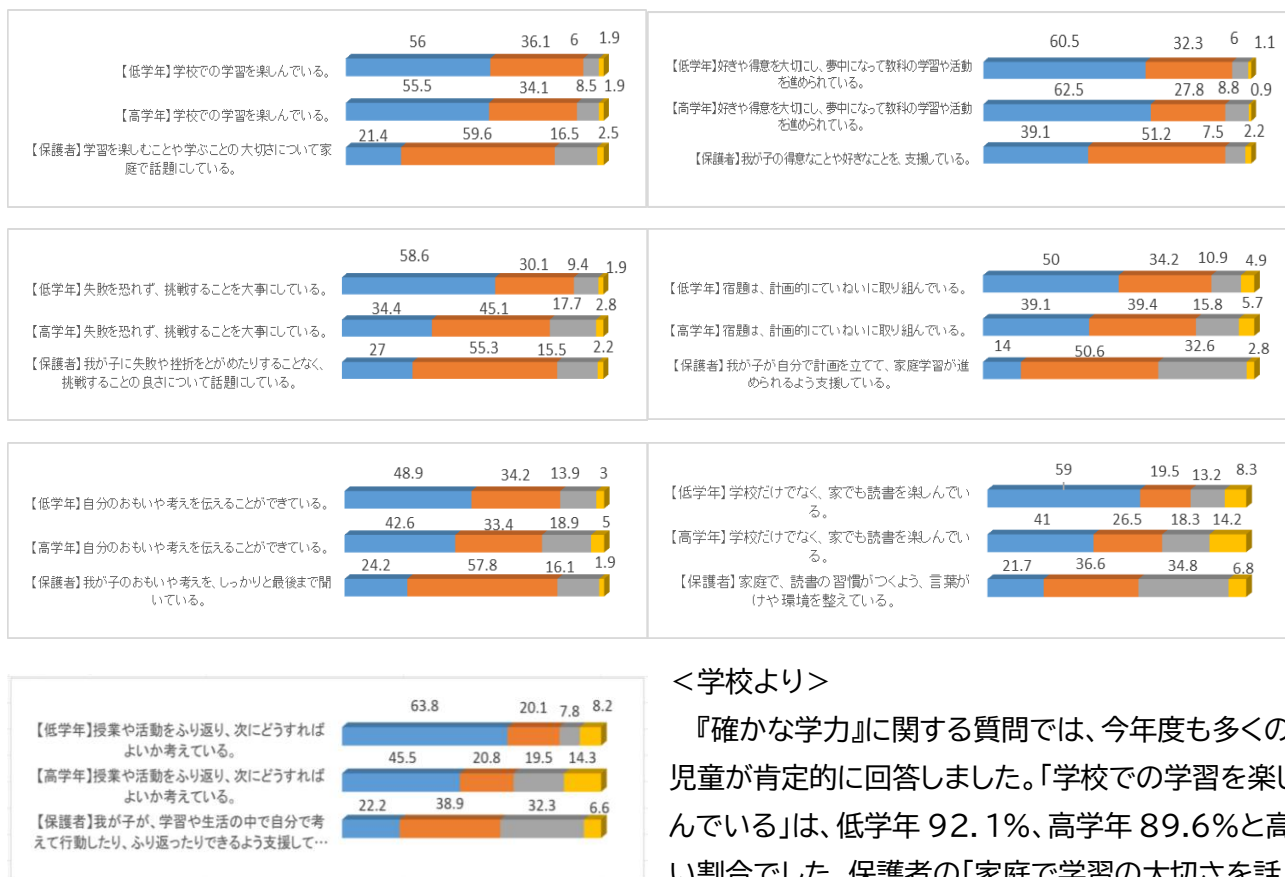
本校では、児童・保護者・教職員による自己評価を通して、学校生活・家庭生活を振り返る「こども育みアンケート」を年2回実施しています。

第1回の結果を分析し、現状の把握と今後の教育活動に活かしてまいります。また、「開かれた学校委員会」の委員の皆様からいただいたご意見も併せて紹介いたします。

アンケート項目は「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の3つの視点から構成されており、それぞれの結果と考察をお知らせいたします。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

確かな学力

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



<学校より>

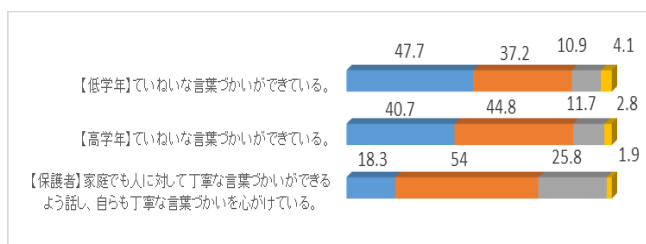
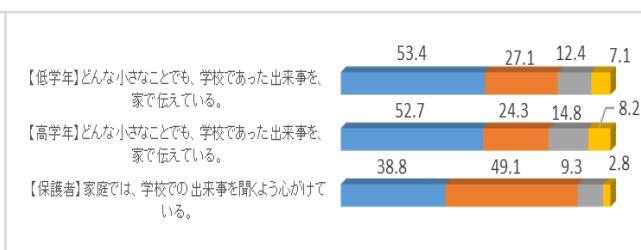
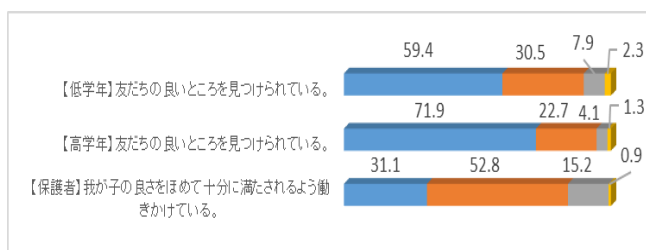
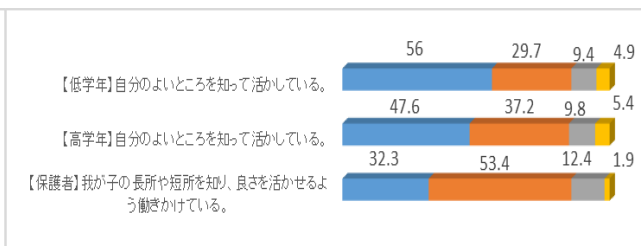
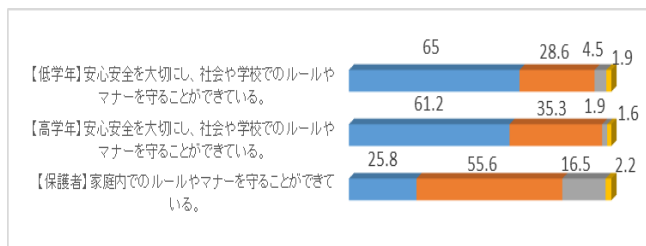
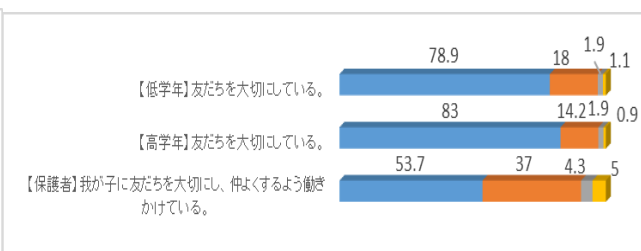
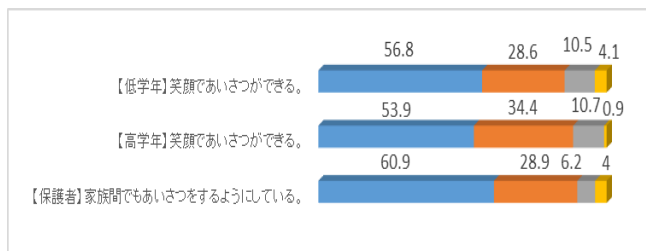
『確かな学力』に関する質問では、今年度も多くの児童が肯定的に回答しました。「学校での学習を楽しんでいる」は、低学年 92.1%、高学年 89.6%と高い割合でした。保護者の「家庭で学習の大切さを話題にしている」も 81.0%と昨年度を上回りました。保護者の皆様の学習への関心と支援の姿勢に、学校としても大きな励ましをいただいております。

一方で、「学校外での学習方法が分かっている」は高学年でやや低下が見られ、今後は学習の進め方の指導を強化します。「家でも読書を楽しんでいる」は、低学年 78.5%、高学年 67.5%であり、さらに読書活動を充実させていきます。

また、「授業や活動をふり返り、次にどうすればよいか考えている」では、低学年 84.6%、高学年 76.0%が肯定的に回答しており、特に低学年で高い傾向が見られました。今後も、ふり返りの時間や活動を通して、自分で考え行動する力を育む教育活動を継続してまいります。

豊かな心

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない



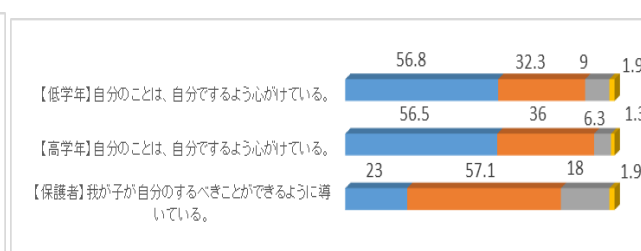
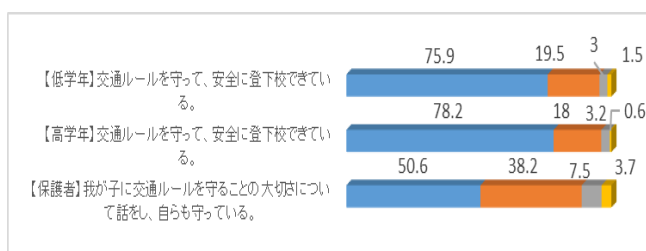
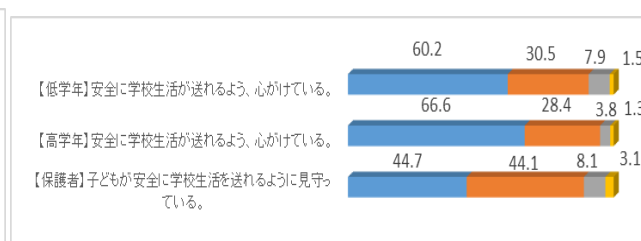
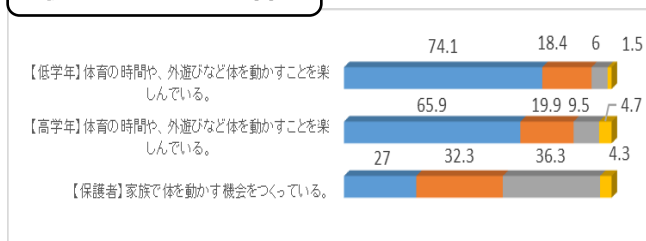
<学校より>

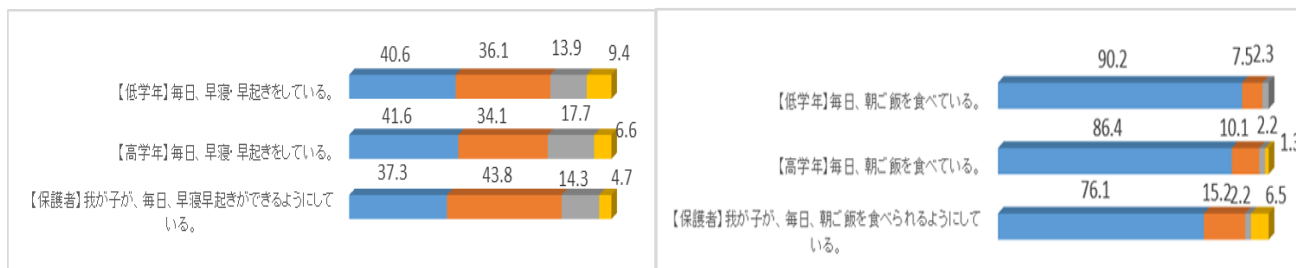
『豊かな心』に関する質問項目では、今年度も概ね肯定的な回答が得られました。「友だちを大切にしている」では、低学年で96.9%、高学年で97.2%が肯定的に回答しています。「ルールやマナーを守って行動している」では、低学年で93.6%、高学年で96.5%でした。

また、「自分のよさに気づき、生活にいかしている」では、低学年で85.7%、高学年で84.8%、「友だちのよさに気づいている」では、低学年で89.9%、高学年で94.6%の児童が肯定的に回答しています。これからも、自分や友だちの良さを認め合い、楽しく学校生活を過ごしてほしいと思います。

健やかな心と体

■よくできている ■だいたいできている ■あまりできていない ■できていない





<学校より>

『健やかな心と体』に関する質問項目でも、いずれの質問にも概ね肯定的な回答を得られました。「交通ルールを守って、安全に登下校できている」という質問では、高学年の 96.2%、低学年の 95.4%の児童が肯定的に回答しており、安全意識がしっかりと育まれている様子がうかがえます。

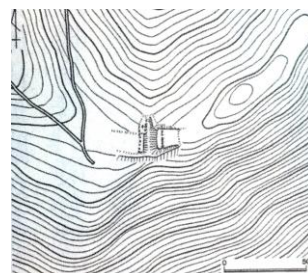
「毎日、早寝・早起きをしている」では、高学年の 75.7%、低学年の 76.7%、また「毎日、朝ご飯を食べている」では、昨年度を3ポイント程上回り、高学年の 96.5%、低学年の 97.7%が肯定的に回答しています。一方で、「あまりできていない」「できていない」と回答した児童も一定数おり、特に生活習慣の面では個人差が見られます。

学校では、長期休業後に「すこやか週間」を設け、『早寝・早起き・朝ご飯』をはじめ、十分な睡眠、バランスの取れた食事、適度な運動など、生活習慣の改善に向けた指導を継続しています。ご家庭でも、引き続きご協力をお願いいたします。

修学院散歩 松ヶ崎城跡

私たちが住む修学院は、京都市の北東にあり、北から京に攻め込もうとする敵の侵入を防ぐうえで、大変、重要な地点に位置しており、戦国時代の山城が数多く点在しています。ここで紹介する松ヶ崎城跡は、みなさんがよく遊びに行く「こどもの楽園」の南にあり、五山の送り火である「法」の字の北にあります。松ヶ崎城跡からは、対岸の丘陵や高野川を広く見渡すことができますので、敵の侵入を監視するうえで重要な山城であったようです。現在、尾根を切り離す「堀切(ほりきり)」と土で堤を作った「土塁(どるい)」が、よく残っています。修学院風土記の 53 ページにくわしく書いています！

(文責:小池寛)



「こども育みアンケートの結果と分析」への提言 —開かれた学校委員会での討議を中心に—

昨今、学校教育では自分なりの学習法を見つけ出すために「けてぶれ学習法」(計画・テスト・分析・練習)が注目されています。自己改善のサイクルを家庭学習にも取り入れてはいかがでしょうか！学校運営協議会「開かれた学校」委員会では、アンケート結果と自由記述について、学校側と意見交換を行っています。

さて、いつもながら、各質問において肯定的な回答率が 90%以上を占めており、学力、心、体の健やかな成長を確認することができます。その一方で、なかなか挑戦できない。自分の思いなどをうまく伝えられない。計画的に宿題ができていないとの回答は、いずれも 20 %前後を占めています。この数字を悲観的に考えることはないとは思いますが、頭の片隅にはおくようにしたいと思っています。なお、自由記述には教科指導や学校生活における先生方へのお礼が寄せられるなか、学年によるホームページ掲載回数の差や酷暑対応、GIGA 端末の自宅活用、運動会観覧のあり方、安全面での対応などについてのご意見を共有いたしました。特に、安全面の対応については、学校側が問題点を整理され、再発防止に向けての取組を強化し、また様々な事故対応の見直しや研修を進めている経緯を伺いましたが、青木理事長はじめ、各委員から対応についてはどの教職員もしっかりと対応し安心安全な教育活動が進められるよう申し入れを行いました。

(文責 小池寛)